

おはようございます。

長崎大学人 河野茂です。

前回も沢山のメールを頂きました。

なかなかひとりひとりに返事ができなく申しわけありませんが、  
しっかり読ませて頂いております。

国家資格への挑戦、自分の夢である職業を得るための挑戦、医療チームの一員となる挑戦、日々の小さな変革への挑戦、大学の歴史を作る壮大な挑戦などなど、  
皆さんのやる気が伝わってきてとても嬉しいです。

さて、先週、私の母校（佐世保南高校）へ講演に招かれました。

10代の高校生を前に、私自身の人生を写真で振り返りながら、未来に向かって挑戦して欲しい、というような内容の講演をしてきました。

とても、熱心に聞いてくれて、私自身も大いに刺激を受けました。

その講演の中でも、私がよく使っている言葉をなげかけてきました。

“よく学び、よく遊べ”

英語でも、<All work and no play makes Jack a dull boy.>という諺があるようです。

ようするに勉強ばかりしているとつまらない人になるから、遊びも大事ということでしょうね。

大学はもちろん学びの場であるわけですが、それだけでは、人は成長しません。

今日は、<楽しいことをやろう>、というテーマで話します。

私は、小学校の1年から6年生まで日曜日に朝から近所の書道教室に行かされました。

母は字が下手だったので、息子になんとか上手になるようにと願って行かされたのですが、結局私も字は下手なままでしたね。

医学部長の時56歳で老先生について書道を習いだしました。

そんなに、楽しい、という感じではありませんでしたが、続けるうちに楽しくなりました。

なぜかというと、やっぱり上手に書くのは、難しい。

難しさを克服しようとしたら、楽しくなる。つらいけど、楽しくなる。

何事も続けないと楽しさは見いだせないのかもしれない。

サークルや部活や人間関係にしろ、無理やり続けるのはダメですが、続けると違った側面が見えて来て、それが人を成長させることもあると思います。

ぜひ、大学生活の中で、何かひとつでもいいので、続けてみてください。  
また、50代、60代であろうとも、楽しいことに挑戦してみてください。

私のもうひとつの楽しみは歌ですね。

以前にも書きましたが、私は、65歳で内科教授を定年退職した後、若い頃よく看護師さんたちとカラオケで歌ったことが懐かしくなり、2週間に一度歌を習い始めました。

若いころは当時の女性が高い声で歌うポップスをよく唄っていましたね。

皆さんは全く知らないと思いますが、アン・ルイスの『六本木心中』や葛城ユキの『ボヘミアン』、中村あゆみの『翼の折れたエンジェル』、などを大声で踊りながら歌っていました。

今、歌の先生に腹式呼吸、リップバイブレーションなどの発声練習などを指導されながら、課題曲を1時間ピアノの伴奏つきで練習しています。

平井堅の『瞳を閉じて』、松田聖子の『瑠璃色の地球』、森山直太郎の『夏の終わり』、河口恭吾の『サクラ』、あいみょんの『裸の心』、ゆずの『栄光の架け橋』などを唄っていますよ。

恥ずかしながら、すでに4曲ほど私の名前でアップしています。

<https://www.youtube.com/@user-gw4lu8np9q>

他にも、ゴルフやウォーキングなどの楽しみがあります。

よく、皆さんから＜引退したら何をするんですか？＞と聞かれますが、

答えは、＜楽しいことをする＞です。私の楽しみは沢山あるので、

時間がなくて困っているくらいです（笑）。

人生100年時代。

そういえば、様々な＜楽しいこと＞を探したり、挑戦したり、続けたりすることも悪くはないでしょう。

それが、もしかすると、人の輪を広げることになり、仕事になるかもしれません。

それが、もしかすると、長崎大学のためになることに発展するかもしれません。

私は思うのですが、楽しくなる心とは、ものごとに偏見を持たず、いつも柔軟に受け入れる姿勢だと思っています。

自分には無理、自分には向いてないと思うと、楽しいことをするドアは、開いてくれません。

学びの場、働きの場である長崎大学で、ぜひ、楽しいことをみつけてください。

あなたの楽しみは何でしょうか？

熱中していること、趣味、その中で出会った人々、体験したこと等々。

あなたの楽しいメッセージを待っています。

なかなか、ひとりひとりにお返事はできませんが、しっかり読ませて頂いております。

皆さんが楽しんで、日々を過ごしていることを心から願っております。

お気軽にメールください。